

令和4年度のスタートに当たって

江別市立江別第三中学校長 畠山 学

本校のホームページにアクセスいただき、誠にありがとうございます。

江別第三中学校は昭和22年5月に新学制6・3・3制の施行に伴い開校した、創立75年目を迎える、歴史と伝統のある学校です。

本校の学校教育目標は、総括目標（長期目標）と位置づけ、『緑豊かな自然と開拓者精神を受け継ぎ、未来社会を創造する輝く知性と豊かな心を持ち、たくましく生き抜く人間の育成を目指し、「不易流行」の精神で伝統ある「三稜の教育」を推進する』としており、すべての活動の根底に位置づけています。

※（『三稜（さんりょう）』とは～本校の校章にあるように、外側のペン先になぞらえた三稜（3つのかど）のひとつひとつが、保護者・教職員・生徒を、あわせて校訓「敬愛・責任・勤労」の精神を象徴したものの）

今年度の本校は、3年生93名、2年生96名、1年生77名、計12学級（あすなろ3学級）、教職員29名（配膳員2名を含む）の体制で第一歩を踏み出しました。昨年度の成果と課題を明確にし、「三稜の教育」を指標として教育活動の推進に取り組んでまいります。

○目指す生徒像<三中校区4校共通>

「夢へのチャレンジ 人への優しさ 未来をひらく子どもたち」

○年度の重点目標

自ら考え 他とともに 新たな価値をつくる生徒の育成

～自立：自ら考えや見通しをもち、自分の意志・判断に基づいて行動する

～協働：同じ目的のために対等の立場で、ともに力を合わせ活動する

～創造：既成の概念にとらわれず、より良い新たな価値を生み出そうとする

※重点的に育成を目指す資質・能力（三中生が身につけるべき9つの力）

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
自立	教科において習得すべき知識や技能	様々な角度から物事を考え、正しく判断する力	粘り強くあきらめず、困難を乗り越えようとする姿勢
協働	他者との関わりの中で課題を共有する力	他者との双方向的なコミュニケーションの力	誠実に人に接し、より良い人間関係を築こうとする姿勢
創造	実生活の場面で活用できる知識や技能	感じたことを表現したり、そこから美しさや新しい価値を生み出す力	自ら決めた目標に向け努力したり、更なる高みを目指す姿勢

本校のさらなる充実・発展、さらには本校生徒が持っている優れた力を引き出すために全教職員がチームとなって取り組む所存です。教育の成果は、ご家庭や地域の教育力でさらに確かなものになります。保護者の皆様や地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、今年度も引き続き、行事等においての予定の変更が予想されます。道、市教委の指導のもと対応を検討し、スピード感を持って順次お知らせしてまいります。ご迷惑をかけることとなりますが、ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。